

X線自由電子レーザーSACLAが広げる未来

矢橋 牧名

理化学研究所 放射光科学総合研究センター

XFEL 研究開発部門 ビームライン研究開発グループ

X線自由電子レーザー (XFEL) 施設 SACLA (SPRING-8 Angstrom Compact free electron LASer) は、世界ではじめてのコンパクト XFEL 施設である。理研と JASRI の共同チームにより、2006 年度から 2010 年度の 5 年間にわたり、SPRING-8 サイトに建設された。真空封止短周期アンジュレータを用いることにより、比較的低い電子ビームのエネルギーにおいても、 1 \AA を切るような短波長 X 線レーザーの生成が可能となった。SACLA は、当初の計画通り、2011 年 3 月に最初の X 線自発放射を観測し、翌 4 月からレーザー発振のための本格的な精密調整を開始、6 月 7 日には、世界最高の光子エネルギーである 10 keV においてレーザー発振を達成した[1]。その後も調整を続け、2012 年 3 月からは供用運転を開始した。典型的には、 $4.5\sim15 \text{ keV}$ の光子エネルギーにおいて、パルス当たりの光子数 $\sim10^{11} \text{ photons}$ 、パルス幅 10 fs 以下[2] の X 線レーザーが利用に供されている。また、さらに強度を高めるために、大阪大学山内和人教授のグループと共同で集光ミラーシステムを開発し、1 ミクロンサイズの高品位の集光ビームがルーティンの利用実験に用いられている[3, 4]。また、光学レーザーと XFEL を同期したポンプ・プロープ実験には、両者のタイミングの計測が非常に重要であるが、我々は、10 フェムト秒の分解能を有するタイミングモニターを開発し、利用実験への適用を進めている。さらに、SACLA のパルスレートである 60 Hz に同期可能な第面積 2 次元検出器を開発し、イメージングや微結晶の回折実験等に幅広く利用している。

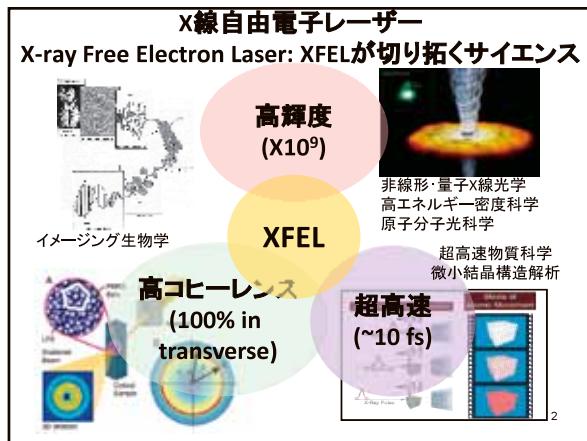
XFEL は、新しいサイエンスを開拓する極めて有力なツールであるが、一方で、光源リソースの不足によるビームタイムの制約が世界共通の大きな課題となっている。我々は、多岐にわたる先端学術研究や産業利用に多くの利用機会を提供するために、新規の XFEL ビームライン (BL2) の整備を進めている。来年度には利用を開始する予定である。また、ビームの時間・波長領域の品質を向上させるために、シード型の XFEL の整備も行っており、本年度中の試験を計画している。

[1] T. Ishikawa et al., “A compact X-ray free-electron laser emitting in the sub-ångström region”, *Nature Photon.* **6**, 540 (2012).

[2] Y. Inubushi et al., “Determination of the Pulse Duration of an X-Ray Free Electron Laser Using Highly Resolved Single-Shot Spectra”, *Phys. Rev. Lett.* **109**, 144801 (2012).

[3] K. Yumoto et al., “Focusing of X-ray free-electron laser pulses with reflective optics”, *Nature Photon.* **7**, 43 (2013).

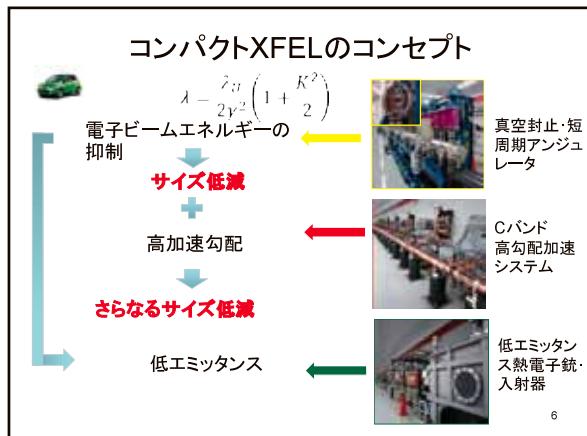
[4] T. Koyama et al., “Investigation of ablation thresholds of optical materials using 1-μm-focusing beam at hard X-ray free electron laser”, *Opt. Exp.* **21**, 15382 (2013).



Contents

1. SACLAC の概要と基本性能
2. 集光光学系と先端利用
3. 汎用利用に向けた取り組み
 1. 連続試料導入フェムト秒結晶構造解析 (SFX)
 2. フェムト秒X線吸収分光
4. 展望

3



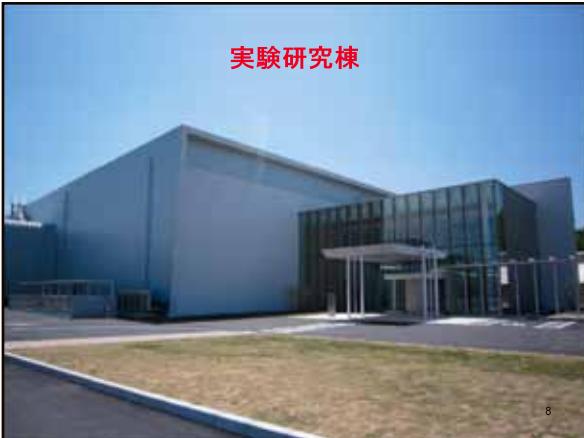
SACLAのファーストレージング



2012年3月から利用運転開始

7

実験研究棟



8

Beamline



性能のサマリー

Pulse Energy	0.3 mJ @10 keV → 2×10^{11} photons
Photon energy range	4.5 to 15 keV
Stability Intensity σ_m	$\leq 10\%$
Pointing	3 ~ 7% of beam size
Repetition rate	20 Hz (Max. 60 Hz)

nature
photronics

LETTERS

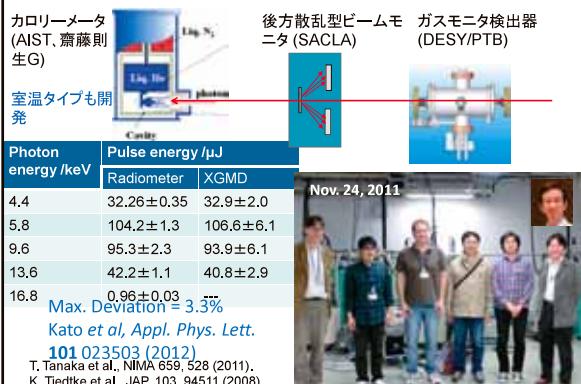
PUBLISHED ONLINE 24 JUNE 2012 | DOI: 10.1038/NPHOTON.2012.11

A compact X-ray free-electron laser emitting in the sub-ångström region

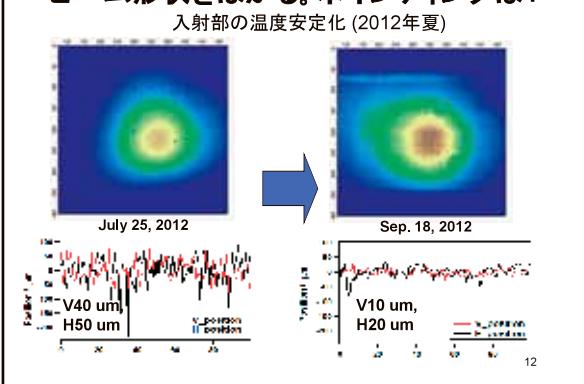
Hiroshi Tanaka and Makina Yabashi et al.*

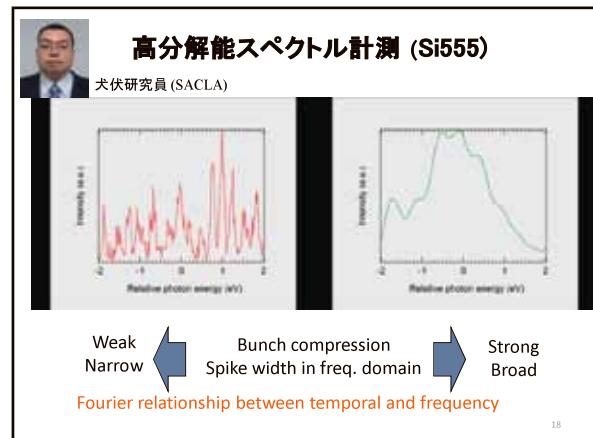
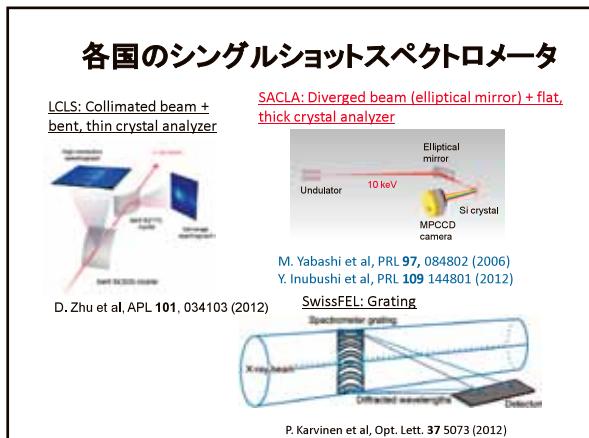
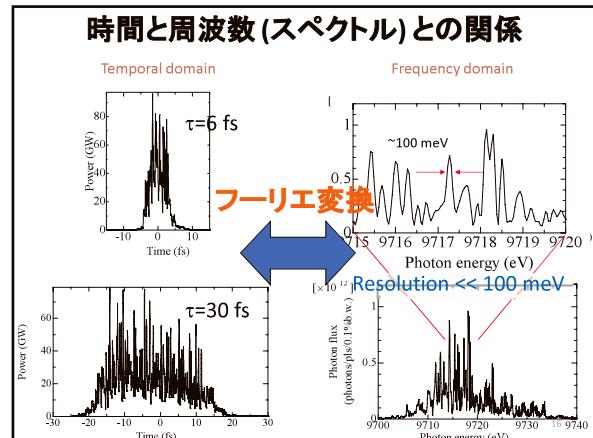
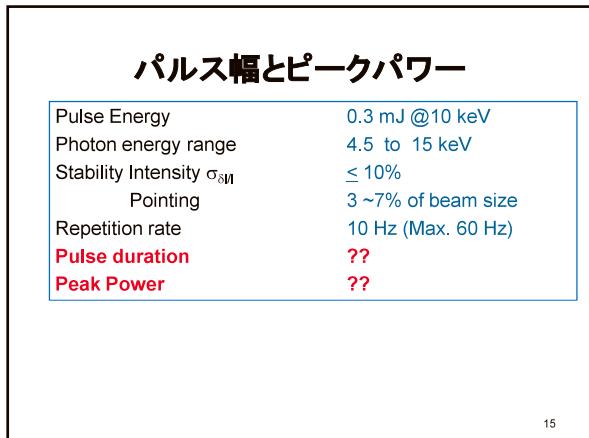
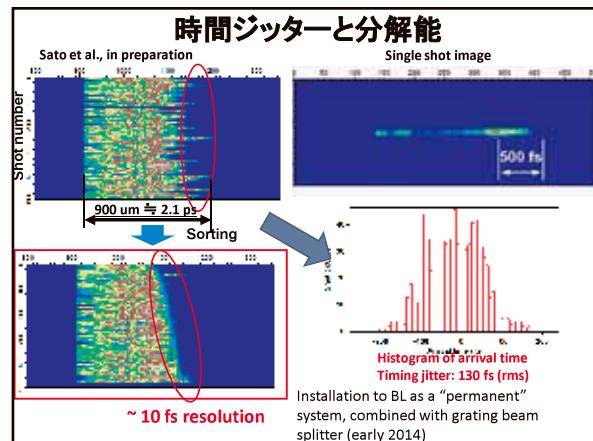
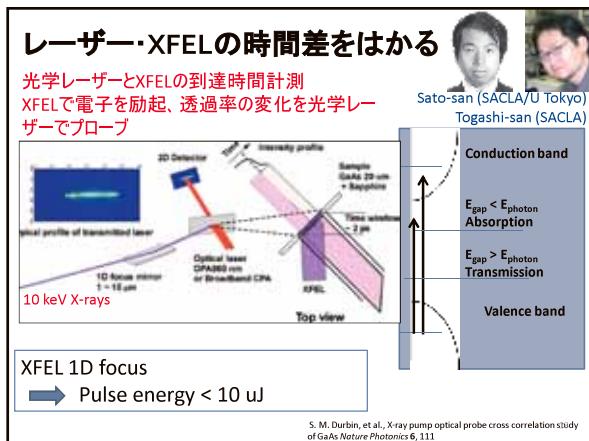
Nat. Photon 6, 540 (2012)
Basic performance in ~2011 10

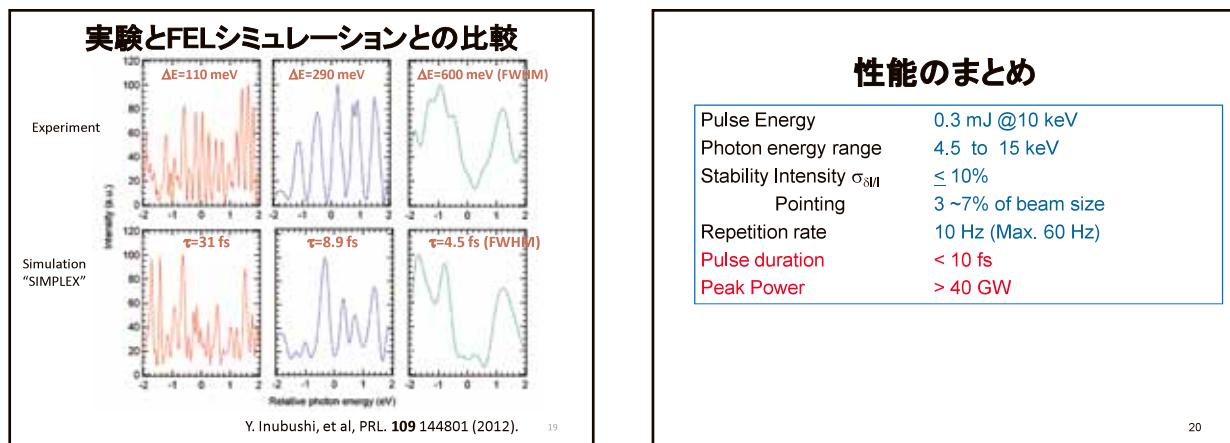
フォトン数をはかる— 絶対強度計測—



ビーム形状をはかる。ポインティングは?



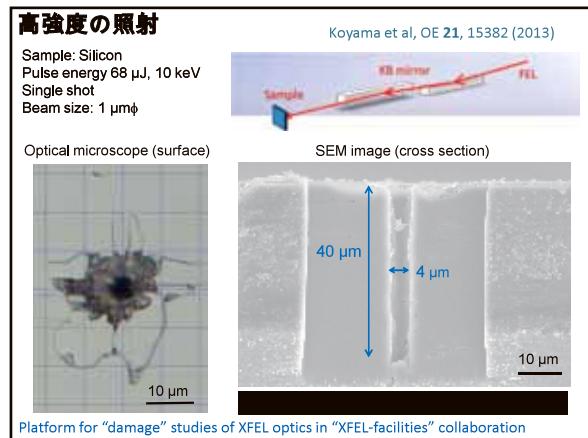
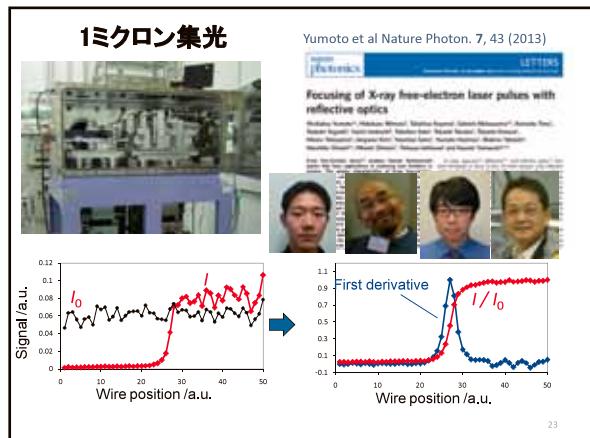
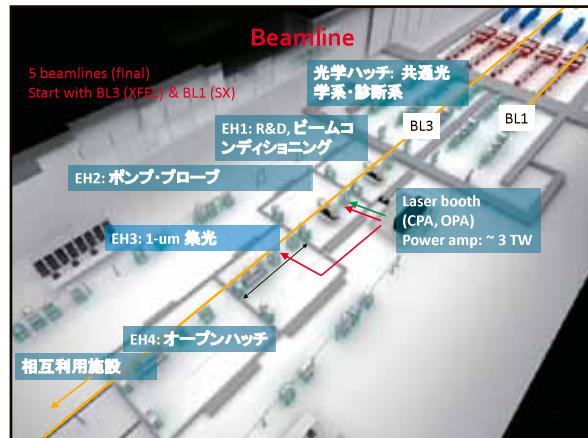


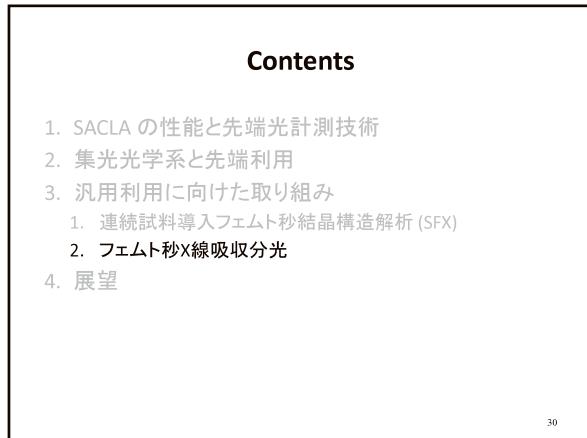
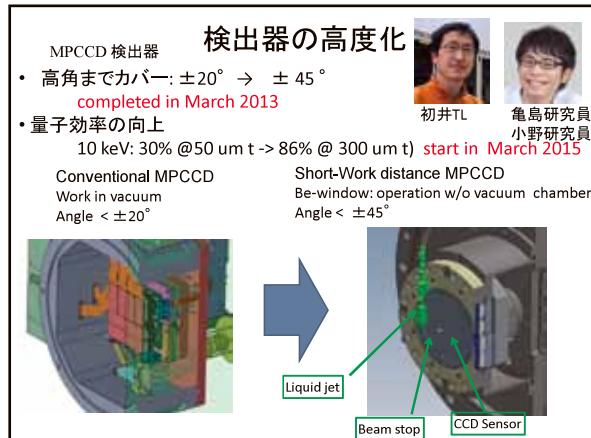
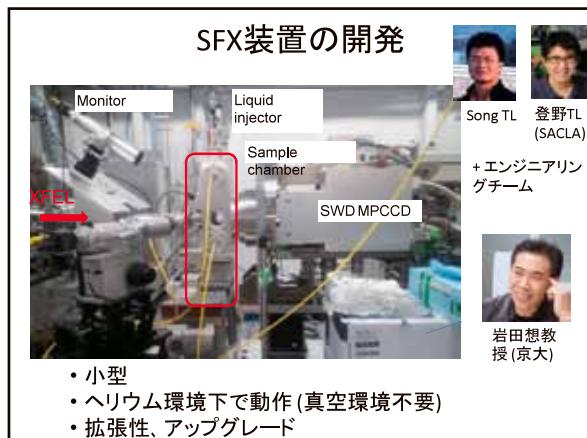
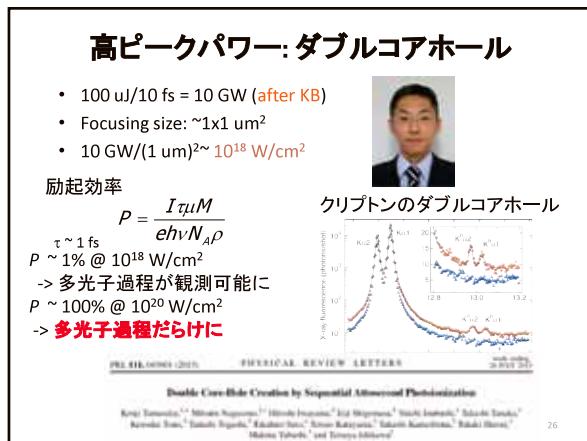
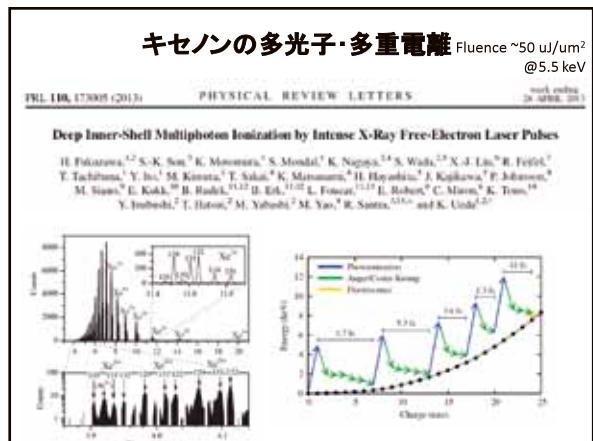


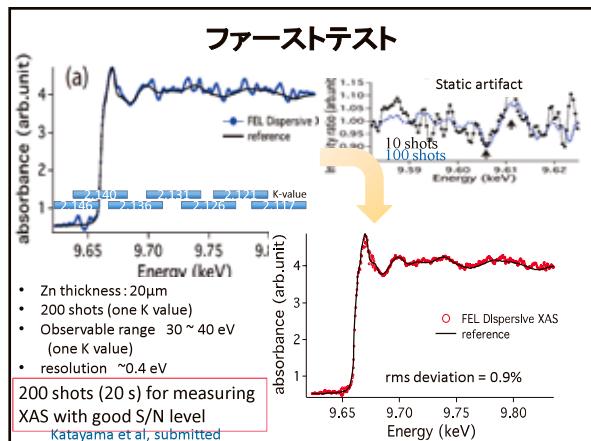
Contents

1. SACL A の性能と先端光計測技術
2. 集光光学系と先端利用
3. 汎用利用に向けた取り組み
 1. 連続試料導入フェムト秒結晶構造解析 (SFX)
 2. フェムト秒X線吸収分光
4. 展望

21



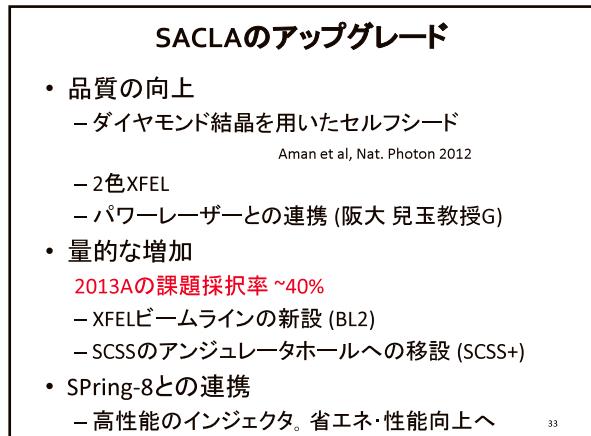




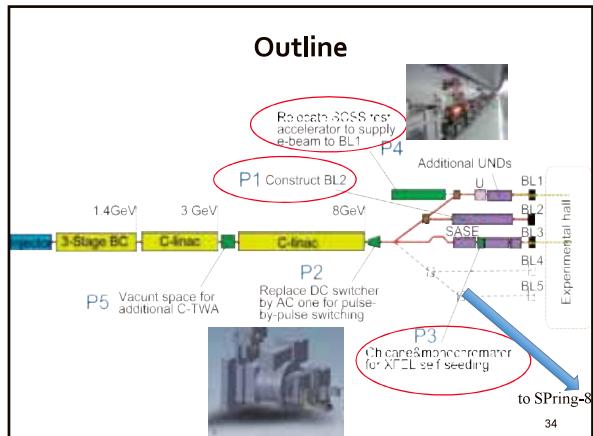
Contents

1. SACLA の性能と先端光計測技術
2. 集光光学系と先端利用
3. 汎用利用に向けた取り組み
 1. 連続試料導入フェムト秒結晶構造解析 (SFX)
 2. フェムト秒X線吸収分光
4. 展望

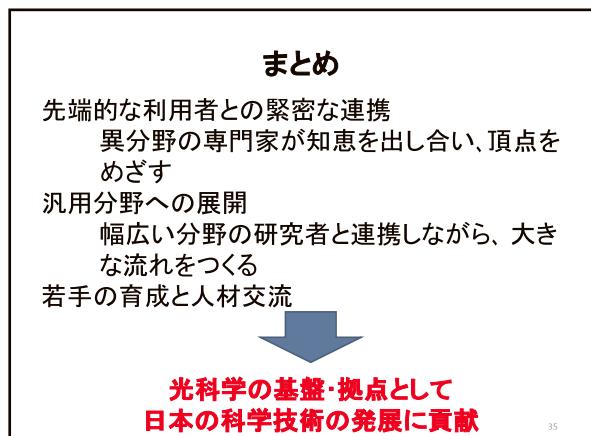
32



33



34



35

謝辞

All SACLA/SPring-8 Members
Especially,
Kensuke Tono, Tadashi Togashi, Yuichi Inubushi, Tetsuo Katayama, Kanade Ogawa, Takaki Hatsui, Yasumasa Joti, Togo Kudo, Takashi Kameshima, Yoichi Kirihara, Shun Ono, Hiroaki Kimura, Hiromitsu Tomizawa, Haruhiko Ohashi, Hirokatsu Yumoto, Takahisa Koyama, Shunji Goto, Kenji Tamasaku, Mitsu Nagasano, Kazuaki Togawa, Takashi Tanaka, Toru Hara, Hitoshi Tanaka, Ryotaro Tanaka, Mitsuhiro Yamaga, Toru Ohata, Yukito Furukawa, Takashi Sugimoto, Hideo Kitamura, & Tetsuya Ishikawa
Yoshiro Fujiwara & Engineering Team
Osaka University
Yasuhide Sano, Satoshi Matsuyama, Taito Osaka,
Univ. of Tokyo
Hidekazu Mimura, Takahiro Sato, Ichiro Inoue
ご清聴ありがとうございました

36